



Kanazawa

生麦を歩こう！

明治維新へと続く
歴史的大事件の現場

事件から21年後に建てられた
英国人哀悼と事件刻印の碑

生麦事件碑

この碑が建つのは、平成29(2017)年3月に開通した首都高速神奈川7号横浜北線の真下。島津藩の一行に非礼な振る舞いをしたとの咎で薩摩藩士に斬りつけられた英国人商人リチャードソンは、横浜方面へ700mほど逃走したのですがここで落馬。追ってきた薩摩藩士に「今、楽にしてやるから」と、とどめを刺されたのです。それから21年後、維新を経た明治16(1883)年、鶴見神社の宮司・黒川莊三によってこの碑が建てられました。碑文を詠んだのは、教育者・中村正直。あなたの死は日本の維新へとつながり無駄ではなかった。そんな大意の漢詩が刻まれています。



英語での説明も併記された案内板。「斬りつけ」の事実についての部分は、日本語と英語で微妙に表現が変えてあるようにも読める。

歴史の授業でも必ず習う「生麦事件」。江戸湾に面する漁村だった現在の横浜市鶴見区生麦の旧東海道の路上で事件は発生しました。数年後の明治維新の契機のひとつといわれる大事件。その現場を訪ねてみました。

ガイドの人の話は、学校では習わなかったことがたくさん！



毎年8月21日には、事件を風化させまいとする地元の人たちによって追悼会も開かれている。

ココにも立ち寄りを！



貴重な資料が1000点以上！

生麦事件参考館

国内外から収集された生麦事件に関する資料を展示する私設資料館。オランダの大学から取り寄せたりチャードソンの遺骸写真、神奈川奉行所による調査記録など1000点あまりが展示されています。作家の吉村昭さんも『生麦事件』執筆のために日参されたとのこと。館長の浅海武夫さんが対応してくれるので事前連絡が必要です。☎045-503-3710

私たちが生麦をご案内します！

ガイドの酒井明美さん

10人以上のみなさんなら、私たち「鶴見みどころガイドの会」がご案内をします。1か月前までにHPからご予約をお願いします。URL: <http://sky.geocities.jp/tsurumimg/>





明治の横浜をイメージした店内だよ。

グルメ スポットはココ!

江戸前の地魚が自慢

味童 天金

名物のアナゴをはじめ、主人が目利きした上質な地魚が刺し身や天ぷらでいただける。東京からわざわざ通ってくる常連さん多いっしょとか。江戸時代から続く老舗中の老舗。JR 鶴見線・国道駅から徒歩1分。☎11:00~22:00 ④第2・4月曜日 ☎045-521-5895



ボクの国 Australiaより歴史があるんです(汗)

由緒あるビールを堪能!

SVB YOKOHAMA

ノルウェーに生まれ、ドイツ人技師に醸造を学んだアメリカ人が、明治3(1870)年に横浜山手に開業したビール醸造所「スプリング・バレー・ブルワリー」。それを発祥とする生麦のキリンビール工場。その一角にあるビアホール。☎11:00~22:00(L.O.21:15) ④月曜日(祝日は営業します)年末年始、臨時休業あり URL:<http://www.springvalleybrewery.jp/yokohama/>



フランス・アルザス地方の郷土料理「タルト・フランベ」。ベーコンとオニオンのナチュラルは1300円。要予約で工場見学も可。

京浜急行生麦駅からぜんぶ歩ける距離ですよ!



アーチ型の梁とアールデコの意匠は鉄道ファンのみならず建築好きにも必見。この都市部にして無人駅

レトロ過ぎるたたずまいで“昭和”を発散する無人駅

国道駅

JR京浜東北線鶴見駅から臨海部を走るJR鶴見線の駅。鶴見線は大正15(1926)年に貨物線として開業。昭和5(1930)年の旅客営業開始時に国道駅も開業しました。昭和18(1942)年に国有化、その後JR線となりました。アメリカ軍による機銃掃射跡が残っています。



赤い鳥居が目印! 古よりの土地の鎮守

道念稲荷神社

横浜市指定無形民俗文化財ともなっている「蛇も蚊も」という行事が行われます(6月第1日曜日)。行事の起源は約300年前に遡り、疫病払いの神事が元と伝わっています。生麦事件現場からほど近い旧東海道沿い。



Yeah! 外国人の目から見るとエキゾチック!

幕府に魚を献上した名高い漁村の面影が

魚河岸通り

江戸時代の生麦村は、幕府に魚を献上する「御菜浦」のひとつでした。御菜浦はいずれも江戸湾に面した8村で、大井、羽田、子安、神奈川などもそうでした。他の地域では、漁村の面影はほとんど見ることができませんが、ここ生麦では、旧東海道沿いの「魚河岸通り」に往時の名残子を見ることができます。8時半から10時頃までの訪問がおすすめです。



日曜・祝日のほか、月2回の水曜日が不定期で休業。毎年11月23日のお祭りは大に賑わう。

面影をほのかに残して 住宅街を走る 旧東海道

事件現場の150年後は 喧騒を離れた住宅街に

生麦事件 発生現場



案内板には、生麦村名士が書き残した当時の日記の文面と早川松山が描いた錦絵が記されている。

神奈川宿から川崎大師見物へと向かうリチャードソンら4人の英国人が、江戸から京への帰路についた薩摩藩主の父・島津久光の一行と遭遇し、供頭の奈良原吉左衛門に斬りつけられた現場がここ。道静かな住宅街を福員や微妙なカーブなど当時の面影をいまなお微かにとどめる旧東海道沿いに、一枚の案内板が掲げてあります。150年の時の流れに思いを馳せながらの散歩がおすすめです。



上:英国人画家が幕府に撮影した事件現場付近横浜御菜浦資料館蔵
左:早川若良が描いた遊覧する外国人女性(国立国会図書館蔵)

東海道の漁村で衝突した 侍の常識と西洋の常識

ペリーが率いる黒船来航によって日米和親条約が結ばれ、200年以上続いた鎖国体制が終わりを告げました。それから8年後の文久2(1862)年8月21日に事件は起きました。江戸から京へと向かう薩摩藩主の父・島津久光の行列と、神奈川方面から川崎大師へ乗馬で向かう4人の英国人が生麦村の東海道で鉢合わせ。乗馬の4人は行列に接触してしまうのです。結果、抜刀した薩摩藩士により英国人1名が死亡、2人が重傷という事態が起きてしまったのです。薩摩藩側とすれば、これはいわゆる「無礼討ち」。あくまで非ハ英国人二有りの、立場でした。しかし列強国イギリスはそうは考えません。事件は賠償問題から鹿児島湾で大砲を交える薩英戦争にまで発展していくのです。戦争は勝敗が曖昧なまま終わりますが、西洋の力を見せつけられた薩摩藩は結局賠償金を支払います。その額は今の30億円とも。薩摩藩が同様に西洋の力を思い知った長州藩と手を結び明治の扉をついに開いたのは、事件から5年後のことだったのです。